



かごしま

ひっとべ塾を開催!!



▲折り紙交流

長寿社会推進センターでは、(財)長寿社会開発センターの助成事業として、「いきいきかごしまひっとべ塾」を知名町、いちき串木野市、曾於市末吉町の県下3地区で開催しました。

この事業は、県が作成した「奄美の島唄・島踊り健康づくりプログラム」を活用した講習会と創作活動「折り紙で昔遊び等」を取り入れ、高齢者と子供やその保護者が世代間交流や仲間づくりを行い、社会参加を促進することを目的としたものです。

現在、各市町村社会福祉協議会では県下744ヶ所で「高齢者ふれあい・いきいきサロン」が行われており、高齢者の生きがいづくりの場として定着が図られています。このようなサロン活動は、多くのボランティアの協力のもとに展開されており、更に地域コミ

ュニティの再生が期待されています。

各会場とも、参加者一同和気あいあいとした中で交流を深め、楽しく充実した一日でした。皆さん若返ったと好評でした。

この後、受講者にはそれぞれの地域において、講習会で習得したものを地域のボランティア活動に活かしていただくことになっており、今後の活躍が期待されています。

▼島場でエクササイズ



New スポーツで元気! ハッラッ講習会を開催!!

長寿社会推進センターでは、(財)長寿社会開発センターの助成事業として「Newスポーツで元気ハッラッ講習会」を県下3地区（湧水町吉松地区・指宿市開間地区・薩摩川内市上甕地区）で開催しました。

この事業は、ニュースポーツを通じて高齢者と子供が体力づくりを行い、また高齢者が子供たちに昔の遊びや文化を伝えて交流を図ることで、高齢者には生きがいと健康づくり、子供たちには昔遊びや文化を受け継ぐと同時に健康増進に役立てるニュースポーツの普及を図ることを目的としています。各会場とも、高齢者・児童とその保護者の3世代にわたる約150人の参加があり、和気あいあいとした中でニュースポーツと昔遊び教室を実施しました。ニュースポーツのベタンクは、初めての方がほとんどで、なかなか思い通りに鉄球が飛ばなかったり、頭脳戦もあって、どのチームも盛り上がっていました。「昔遊び教室」では、老人クラブの方がたを講師に迎え、お手玉と竹トンボ作りを行いました。

お手玉では、子供たちがお手玉を操るのに苦戦していましたが、練習するにつれ、メキメキ

上達していました。みんなで輪になり、「あなたがたどこさ」の曲に合わせて、隣の人にお手玉を渡す遊びをした時は、なかなかリズムに合わせてお手玉を渡すことができず、笑いが溢れていました。

竹トンボでは、老人クラブの方がたが作る様子を子供たちが真剣な眼差しで見つめ、器用な道具さばきに尊敬の念を抱いているようでした。子供たちは、日頃あまり触れることのないお手玉や竹トンボを使った遊びを通じて、先輩方の素晴らしさや手作りのおもちゃで遊ぶ楽しさを満喫していました。今後この事業をきっかけに昔遊びの伝承とニュースポーツの普及につながっていけばと考えています。



▲竹とんぼ

▼ベタンク



◀お手玉